

## 国の機関等による向こう5年間の国際会議等の北海道開催計画（令和5～令和9年度）

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	R5	G7気候・エネルギー・環境大臣会合	環境省、経産省	令和5年4月15日、16日	札幌市	気候、エネルギー、環境に関するG7大臣会合。	未定
2	R5	第21回日ASEAN次官級交通政策会合	国土交通省	令和5年7月18日～21日	札幌市	「日ASEAN交通連携」に基づき、日本とASEANとの間の交通分野の連携を強化するため、高級実務者（次官級）による会合を開催。同会合では、交通分野の協力案件の進捗状況の確認および新規案件の提案を行う予定。	50名程度
3	R5	低温の化学と物理に関する国際研究会 Conference on Physics and Chemistry at Low Temperatures	CPLT Committee	令和5年7月上旬	札幌市	低温下における原子や分子の化学・物理的現象に関する研究会。	80名程度
4	R5	第3回アジア汚水管理パートナーシップ（AWaP）総会	国土交通省、環境省	令和5年8月1日	札幌市	アジアの国々における汚水管理の主流化に向けた国際会議。	30名程度
5	R5	第35回国際電波科学連合総会	一般社団法人電子情報通信学会、国際電波科学連合、日本学術会議	令和5年8月19日～27日	札幌市	「持続可能な社会を目指す電波科学が拓く未来：札幌から世界への最先端の研究成果の発信」をメインテーマに、「電磁波計測」、「電磁波」、「無線通信システム信号処理」、「エレクトロニクス・フォトニクス」、「電磁波の雑音・障害」、「非電離媒質伝搬・リモートセンシング」、「電離圏電波伝搬」、「プラズマ波動」、「電波天文学」、「医用生体電磁気学」などを主要題目とした研究発表と討論が行われる予定。	1,200名程度
6	R5	FHS International Conference	北海道大学大学院保健科学研究院	令和5年夏～秋	札幌市	海外の研究者の招待講演及び大学院生のポスターセッションをメインとする国際シンポジウム。	250名程度
7	R5	第22回発達性ディスレクシア研究会	発達性ディスレクシア研究会	令和5年9月	札幌市	発達性ディスレクシア研究会の年次大会であり、北海道大学が事務局を担当する。英国からのスピーカーによる招待講演が行われる予定。	100名程度

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
8	R5	第26回北海道大学-ソウル大学校ジョイントシンポジウム	北海道大学	令和5年10月頃	札幌市	韓国ソウル大学校と毎年交互に主催者となり開催する全学規模の国際研究シンポジウム。複数分野の研究者、大学院生、職員の交流を促進するもの。	300名程度 (200名程度)
9	R5	International Microprocesses and Nanotechnology Conference	応用物理学会	令和5年10月～11月	札幌市	先端半導体プロセス技術とナノテクノロジーを中心とし国内外の研究者で議論。同様の姉妹会議が、米国、欧州でも開催されている。	400名程度
10	R5	日中冬期道路交通ワークショップ	一般社団法人北海道開発技術センター、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所	令和5年8月29日～9月1日	札幌市	中国及び日本北部地域の冬期道路交通関連技術に関する議論及び意見交換を目的とするワークショップ。	60名程度
11	R6	第40回アジア競馬会議	日本中央競馬会	令和6年8月27日～9月1日	札幌市	アジア競馬連盟（ARF）加盟27カ国参加の会議。	500～600名程度 (50名程度)
12	R6	Optics and Photonics Japan	日本光学会	令和6年11月頃	札幌市	日本光学会による大会。	250名程度
13	R7	FHS International Conference	北海道大学大学院保健科学研究院	令和7年夏～秋	札幌市	海外の研究者の招待講演及び大学院生のポスターセッションをメインとする国際シンポジウム。	250名程度

※ このほか、向こう5年間（令和5～9年度）に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が22件ある。

※ 1～3は令和5年7月26日現在において開催済み。

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。

3：（ ）はオンラインでの参加人数。